

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2011年5月1日発行

はもりあ四日市では、今年度も「はもりあ四日市」を起点として、情報紙「はもりあ」の定期発行等による情報提供、さんかくカレッジや講演会などの学習機会の提供、相談事業等、あらゆる世代に向けた総合的な男女共同参画社会実現のための施策を推進していきます。今月から、いよいよ今年度講座の受講申し込みがスタートします。詳しくは広報よっかいち5月下旬号をご覧ください。



## 今年も“三重県内男女共同参画連携映画祭”を開催します！！

### 【“つながる ひろがる メッセージ”】

四日市市は、市民の皆さんに男女共同参画を考えるきっかけを持ってもらいたいと、平成19年度から、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」、鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」、そして四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」の3館で協力して連携映画祭を開催しています。

同時期に連携して映画を上映することは、広域で連携映画祭の趣旨と男女共同参画について広報することができるのと同時に、他市が企画した映画にも四日市市民の皆さんが気軽に参加でき、男女共同参画を知る機会を増やすことができるというメリットがあります。映画上映会場では、事業紹介等のパネル展示を行うなど、「男女共同参画」を知っていただくための情報発信の場として活用しています。

この連携映画祭の輪は、男女共同参画センター3館から他市にも広がり、平成20年は5会場、平成21年には8会場、平成22年には12会場、そして今年度は16会場で実施することになりました。

### 【映画で見つけよう“男女がともに生きるヒント”】

男女共同参画社会とは、すべての人々の人権が保障され、一人ひとりが、性別にかかわらず、自立した個人として、その能力と個性を十分に発揮することができる社会であり、多様な生き方が認められる社会です。

6月11日に御浜町でスタートする連携映画祭。四日市市は、7月2日(土)に「クララ・シューマン 愛の協奏曲」を上映します。

主人公クララ・シューマンは、有名な作曲家ロベルト・シューマンの妻です。現在は、女性閣僚も輩出しているドイツですが、クララが生きた19世紀のドイツは、女性の社会進出がとても困難な時代で、女性が作曲家になることは世間では認められていませんでした。クララは、そんな時代でも妻として、7人もの子どもの母として多忙な日々を送りながら、作曲の才能も発揮し、ピアニストとしても力を発揮しました。

困難な出来事にも毅然と立ち向かうクララの姿をぜひ見に来てください。



## クララ・シューマン 愛の協奏曲

日時 7月2日(土) 13:30~15:30

場所 四日市市文化会館 第2ホール

料金 500円 (託児あります。9歳まで。先着15名程度。)

## 今年度のはもりあ週間は、8月27日～9月4日に決定!

4月26日に、「登録グループのつどい」を行い、昨年度のさんかくカレッジ市民企画の企画運営グループからの報告、はもりあ週間の報告とともに、今年度の“はもりあ週間”について、意見交換を行いました。

### <はもりあ週間>

今年度、はもりあ四日市は、センター開設15周年（H8.8.1開設）条例制定5周年（H18.3.23制定）の節目を迎えます。これをふまえ、今年度の“はもりあ週間”は夏に開催することや、企画運営委員は公募だけでなく、ワークショップを企画するグループからも1名ずつ出していただくことなどを提案し、了承していただきました。また、期間については、「夏休みであれば子どもたちが参加しやすいのではないか」「土日を2回含んだ日程がいいのではないか」「期間は1週間以内がいいのではないか」などの意見をいただきました。センターで検討した結果、今年度は、8月27日～9月4日に開催することにいたしました。

### <ワークショップ企画と企画運営委員を5月20日まで募集します!>

男女共同参画をテーマにしたワークショップを企画・運営して下さるグループを募集します！市民の皆さんが気軽に参加できる学習会・講演会・講習会などを企画してください。

また、登録グループの会員の皆さんと個人登録の皆さんの中から、企画運営委員を募集します。

はもりあ四日市の職員も、企画委員の一員として皆さんと一緒に知恵を出し合い、はもりあ週間をセンター開設15周年記念事業にふさわしい企画にしたいと思っています。

いずれも募集は5月20日までです。

ぜひ皆さんの力を貸してください。



<登録グループのつどいの様子>



## 男女共同参画推進サポーターを募集します!

三重県では、市町などと連携・協働しながら地域における男女共同参画を進めるため、各市町に男女共同参画推進サポーターを配置します。任期は2年です。興味のある方は、下記までご連絡ください。

### 1 募集人数

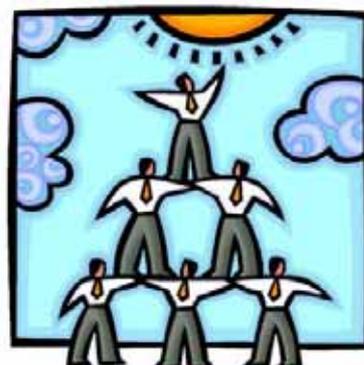
3人(四日市市民) 三重県全体では、数十人の募集です。

### 2 サポーターの役割

- ・地域における男女共同参画に関する情報の収集、発信
- ・ロールモデル等へのインタビュー、取材、事例集の作成
- ・県・市町が行う男女共同参画施策への協力

### 3 活動費等の支給

- ・活動費として、月額2,000円支給します。
- ・県が指定した研修会へ参加する旅費は別途支給します。
- ・保険料三重県負担で、ボランティア活動保険へ加入します。



### 【お問い合わせ】

四日市市男女共同参画センター

TEL 059-354-8331

FAX 059-354-8339

三重県生活・文化部 男女共同参画・NPO室 男女共同参画グループ

TEL 059-224-2225

FAX 059-224-3069

# 今年度の「男女共同参画週間」キャッチフレーズが決定しました！

国は、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、あらゆる機会で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」の実現が21世紀の最重要課題の一つであると位置づけています。そして男女共同参画推進本部は、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

## ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

女性は、人口の半分、労働力人口の約4割を占め、政治、経済、社会など多くの分野の活動を担っています。しかしながら、日本では他の先進国と比較して指導的な立場で活躍する女性が少ないのが現状です。このため、さまざまな分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲において、活動に参画する機会を積極的に提供するポジティブ・アクション（積極的改善措置）を企業、団体、地域社会などで推進することが求められています。

今年度は、この「ポジティブ・アクション」の理解を求め、取組を促すためのキャッチフレーズを募集した結果、応募総数1,992点の中から、

**“チャンスをつかち、未来を拓こう”**に決定しました。

この週間を機会に、男女共同参画について、そしてポジティブ・アクションについて考えてみませんか？

## 今月のおすすめ本

集英社新書をまとめて購入しました。今月は、その中から2冊紹介します。この2冊は、「はもりあ」で貸出しています。



### ルポ「まる子世代」

- 変化する社会と女性の生き方

この本は、漫画ちびまる子ちゃんと同じ年代（1964年～69年頃）に生まれた女性たちにスポットを当てています。男女雇用機会均等法施行からバブル絶頂期・崩壊期と、とても変化の激しい時代に社会に出たまる子世代の現実と、彼女たちの母親たちの生き方を、インタビューを交えながら比較して書かれています。



### 住まいと家族をめぐる物語

- 男の家、女の家、性別のない部屋

この本は、いろいろ端茶の間リビングルームに注目して住まいの移り変わりを捉えながら、家長制度、性別役割分業の時代など家族の変化をジェンダーの視点で捉えています。住まいの形態の背景とジェンダーがどのように関連しているのか考えるのに良い本です。

今月のキーワード

## ジェンダー・バイアス

「ジェンダー」とは男（女）とはこういうもの、という通念を基にした男女の区別のことで、一般的に「社会的・文化的な性差」と訳されます。「バイアス」は「偏見」という意味で、ジェンダー・バイアスとは、その「男（女）らしさ」から生まれる偏見や先入観のことです。

例えば、男性は外で働き、妻子を養うのが当たり前、男性のほうが指導的立場に向いている、女性は家事育児をきちんとやれて一人前などです。

これらのジェンダー・バイアスは、固定化された世界観や情報が広く浸透し、それが常識として共有されていることによりつくられてきました。

これからの私たちにとって必要なことは、固定化された男女のイメージで人を判断することではなく、個々の個性や能力を認め、それらを十分に發揮できるような社会にすることです。



## 登録グループイベント情報

- 5月27日(金) ~自分をほめてみよう~ 『命の声を聴く自己尊重トレーニング』  
アロマの香りのなか、ストレッチをし、心とからだをほぐします。その後、自分をほめたり、周りの人とほめあったりします。じぶんをほめ、自分を好きになって子育てを楽しみましょう。  
時 10:00~12:00 所 富田地区市民センター 1階和室 費 500円(会員200円)  
託 200円(1人) 持ち物 バスタオル、筆記用具、お茶  
問・申 子育て広場 ドロップin (TEL363-3728)
- 5月28日(土) 祝200回記念のつどい いぐらふれあいの会  
“向こう三軒両隣り”の助け合いを願って立ち上げた「ふれあい」も17年になりました。今回は特別企画で和太鼓・ハーモニカ演奏・フラダンスにマジックショー等を行います。初めて来られる方、のぞいてみようという方、大・大・大歓迎です。  
時 10:00~12:00 所 ひかり幼稚園 費 無料  
問・申 きずなの会 飯田 (TEL352-2611)
- 6月6日(月) Can 『おはなしボランティア交流会』  
元市立図書館副館長の宇佐美真由美さんに「子どもと本の出会いの場としての図書館」についてお話いただきます。  
時 10:00~12:00 費 300円 所 なやプラザ会議室  
問・申 Can 岡田(TEL352-3094 FAX 352-3138)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介します。今回は スイング\*スリング さんです。

# スイング\*スリング

代表 原 弘子 会員数 5名  
連絡先 059-329-2848

昨今、育児情報誌や新聞・テレビなどで取り上げられる事の増えてきた、ベビースリングという抱っこひものユーザー交流サークルです。

生後1ヶ月頃から3歳頃の乳幼児とその保護者さんと、抱っこひもスリングを活用したスキンシップや使い方講習会と子育て交流会を行っています。

育児の基本となる抱っこを通じて、楽しい子育てを目指しています



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml